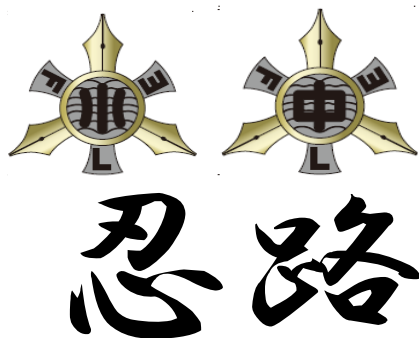




教 育 目 標

かしこく
やさしく
たくましく

令和8年8月31日
忍路中央小学校
忍路中学校
学校だより5号
本庄 有希子



忍路小中HP <https://www.otaru.ed.jp/osyoro-psjh/>

「忍路・蘭島の未来へ紡ぐふるさとキャリア教育」

校長 本庄 有希子

夏休みが明け、校舎に子どもたちの元気な声が戻ってきました。学校の畑では、子どもたちが毎日大切に水やりをして育ててきたトマトやキュウリ、ナス、オクラ、枝豆などが収穫の時期を迎え、鮮やかな実をつけています。

本校は、「かしこく・やさしく・たくましく」を教育目標に掲げ、小規模な小中併置校の強みを活かした、一人一人が主役となれる温かな居場所づくりに取り組んでおります。

特に特色ある取組が、小中9年間を見据えた「ふるさとキャリア教育」です。総合的な学習の時間において、忍路・蘭島の「史跡」「漁業」「農業」を3年サイクルで深めており、今年度は「農業」をテーマに学ぶ年となります。3年前の「農業」では、米作りに挑戦しましたが、今年度のテーマは「トマト」です。小学校は一足早く取組が始まっており、塚本農園さんのご協力のもと、学校の畑に苗を植えたり、ハウスを見学させていただいたりしました。また先日は、中学校でお世話になる「なまらファーム」さんと打合せをさせていただいた際、とても興味深いお話を聞きました。小樽にはニシン漁をはじめとする漁業や、史跡の歴史資料は豊富にあるものの、農業の歴史についての資料はほとんど残っていないということです。私自身、この地域の史跡や海に関する歴史に触れる機会は多くありましたが、忍路・蘭島の農業の歩みについては詳しく知る機会がありませんでした。そこで、農業に関することが忍路中央小学校開校120周年の際に発行された記念誌『忍路こども風土記』に書かれていると聞き、開いてみました。

忍路・蘭島は漁業がもとです。江戸・明治期のニシン漁において、多くの人たちが働く漁場での一番の悩みは、「食料」でした。米が獲れないこの地では、米は本州に頼るしかありませんでしたが、「自分たちの手で作ることができるものは作ろう」と、空き地に畑を作り、野菜の生産に励んだそうです。塩ニシンと野菜で作る「三平汁」は当時の代表的な料理で、米がなくなってしまったときには何日も食べ繋いだといいます。しかし、明治2年、開拓使が土地の割当てを決め、空き地だからと言って自由に畑を作るわけには行かなくなり、その割り当てられた土地に農業を専門に行う人たちが移って来ました。こうして忍路土場で数戸の入植者と漁業の行き先を見きりをつけた人々が農業を始めたそうです。まずは自分たちの食べ物からと、麦や粟、芋、蕎麦、大豆などを育てようとしていました。しかし背丈以上のアシ原を刈り、大木を倒し、足元の土を耕す大変過酷な日々だったようです。明治25年頃になると、モチヤ沢も農業を行う人たちによって切り開かれていきました。苦労が実を結んで、明治40年頃からは米作も始まりました。一方、斜面の多い土地ではリンゴをはじめ、ブドウやイチゴの栽培へと広がっていきました。驚くことに、現在の忍路小中学校が建つこの場所も、かつてはリンゴ園だったそうです。明治35年に61戸だった農家数は、昭和30年には811戸となり、この土地に農業が根付いていきました。

今年度の中学校の総合的な学習の時間では、小学校時の学びを元に、困難に負けず未来を切り拓いてきた地域の方々の思いに触れながら、深い探究を通して、「生まれ育った大切な地域のために、自分たちは何ができるだろう」と考え、ふるさとへの誇りと愛着を育んでいけたらと思っています。



小中 2 学期始業式

8月21日（金）に2学期の始業式がありました。中学生は30日ぶり、小学生は28日ぶりの登校となりました。始めに、小学校と中学校の校歌（1番）を全員で歌いました。校長先生からのお話の後、児童会代表、生徒会代表から、「夏休みの思い出と2学期の目標」について作文発表がありました。大きな声で、しっかり発表する姿勢は素晴らしかったです。2学期も小中発表会や地域学習発表会などたくさんの行事がありますが、本校らしくみんな協力し合い、楽しく過ごしていけたらと思っています。2学期も、よいスタートを切ることができました。



小学校 手話の授業

8月24日（月）に小樽市保健部と小樽ろうあ協会の方を講師にお招きし、小学生を対象とした手話教室がありました。

ろうあ者の方が困ることは、店員さんがマスクをしているので口の動きが読み取れないことや電車に乗っているときに電車が止まると何が起きているかわからないことだそうです。

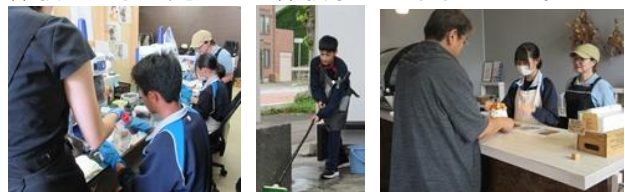
また、挨拶や簡単な手話、自己紹介の仕方についても教わり、実践してみました。自己紹介では苗字は手話、名前は指文字で表すことなど、多くのことを学び、考える貴重な時間となりました。



中学校 職業体験

8月25日（火）に中学2年生を対象としたキャリア教育・職業体験がありました。1学期に「とべんべ」さんの方を講師に働くことの大切さや接客の仕方を学んでいましたが、今回は実際にお店を訪問しての実践学習となりました。

始めに生徒がペアとなり、実際にカウンターに立ち接客の仕方を復習した後、かき氷を作る体験をしました。シロップを入れたり、削ったふわふわの氷をつぶさないように形を整えたり、店員さんの丁寧なレクチャーを受け、かき氷を完成させることができました。自分で作ったかき氷のおいしさを堪能しました。玄関のお掃除をしたり、実際にレジ打ちを体験したりと充実した体験学習となりました。



小中 潮ねりこみ

7月25日（土）に実施された潮ねりこみに「忍路小中学校PTA」梯団として今年も参加することができました。

小中学生、保護者や地域の皆様、先生で30名を超えるたくさんの方々が参加してくださり、楽しいひと時を一緒に過ごすことができました。

「忍路マスコット」をプリントしたピンクのTシャツを着て、中学生が元気にかけ声をかけてくれたり、体験入学にきていた小学1年生のお子さんも飛び入りで参加してくれたりと本校らしい心温かく、大きな家族のような梯団として参加することができました。来年度も忍路小中PTA梯団として参加する予定であります。



CS防災教室にぜひ、ご参加ください

夏休み中には、地震や局地的大雨などの自然災害が全国で発生しました。今年度も、防災意識を高め、蘭島・忍路地域で実際に災害が起きた時の初期対応、避難方法や経路、避難所での過ごし方などについて学ぶためにCS防災教室を行います。

今年度は9月18日（金）の3・4校時（10時25分～12時10分）に体育館で行います。小樽市総務部災害対策室の協力により、クロスロード（カードを用いたゲーム形式による防災教育教材です。カードに書かれた事例を自らの問題として考え、意見交換を行いながら、ゲームを進めていきます。）や避難所設置体験（段ボールベッド作り）を行う予定です。

ぜひ、地域の皆様や保護者の皆様にご参加いただき、防災について一緒に考えることができたらと思っています。その日は、1時間目から地域公開参観日も実施しています。

CS防災教室にご参加を希望される方は、学校（61-2301）にお電話ください。また、右記の二次元コードからもお申し込みいただけます。

たくさんの地域・保護者の皆様のご参加をお待ちしています。

